



第67期 報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役会長 中村達朗
代表取締役社長 石井和徳
代表取締役副会長 串田 榮

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。第67期（平成26年3月期）の事業の概況をお届けし、ご報告申しあげます。

営業の全般的状況

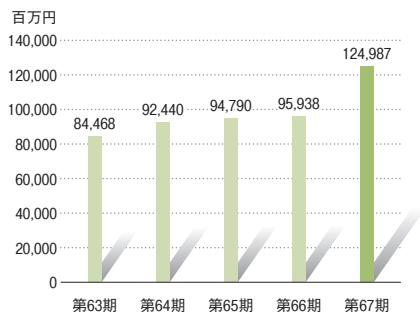
当期のわが国経済は、政府による経済政策および日銀による金融政策等を背景に円安・株価高が進行し、企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど景気は緩やかに回復基調で推移しています。

一方、個人消費におきましては円安による物価上昇が食品や日用品等に現れ始め、消費税増税による一時的な景気低迷の懸念等もあり本格的な景気回復には、まだ時間を要するものと思われまます。

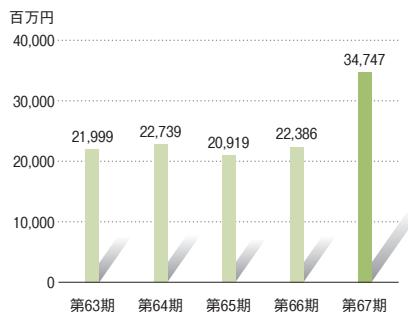
このような状況のもと当社グループは、平成24年11月に出資比率を約97%まで上げた連結子会社であるヒロセコリア株式会社との営業、開発、生産面での連携を一段と深めつつ当社グループのグローバル事業拡大を積極的に進めるとともに、製品開発部門、生産技術部門、営業・マーケティング部門等を集結させた横浜市都筑区の

業績ハイライト

売上高



経常利益



当期純利益



「横浜センター」を中心に、高度化する市場ニーズへのさらなる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売体制の強化を引き続き推進してまいりました。

その結果、当期の連結売上高は過去最高となる1,249億8千7百万円（前期比30.3%の増）、営業利益は330億5百万円（前期比57.3%の増）、経常利益は347億4千7百万円（前期比55.2%の増）、当期純利益は224億3千9百万円（前期比66.1%の増）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、政府による経済政策および日銀による金融政策の効果が下支えとなり本格的な回復局面への移行が期待されます。

一方、企業業績の回復に伴う人件費の上昇、円安を背景とする原材料価格の高騰、消費税増税の影響、新興国の景気減速等懸念材料も多く、先行きの経済環境は依然楽観視を許さない状況も予想されます。

当社グループといたしましては、カーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車分野での成長および産業用機器・通信用機器分野での拡大並びに低価格志向によりさらなる価格競争が予想されるスマートフォン、タブ

レットPC等の大量品ビジネスの維持・拡大が見込まれます。

このような環境の中で当社グループは、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、生産拠点のリスク分散化および今後のビジネスの成長・拡大を目指したグローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

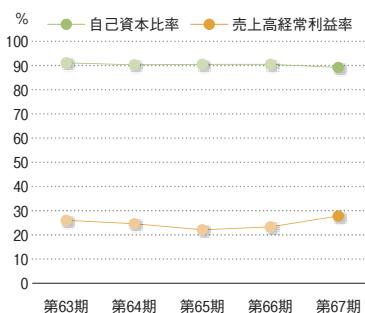
平成26年6月

代表取締役会長 中村 達朗

■ 1株当たり当期純利益額



■ 自己資本比率、売上高経常利益率



■ 1株当たり純資産額



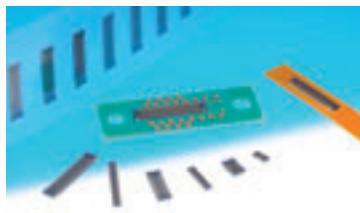
多極コネクタ

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン・携帯電話、タブレットPC・電子書籍、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化

社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当期は、主に韓国および中国のスマートフォン・携帯電話市場向けや自動車市場向けの受注・売上が堅調に推移するとともに産業用機器市場向けビジネスの回復もあり、連結売上高は1,019億6千7百万円（前期比32.2%の増）、営業利益は284億3千5百万円（前期比62.2%の増）となりました。

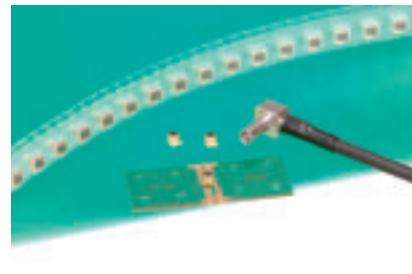


同軸コネクタ

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォン・携帯電話および伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこ

の中に含んでおります。

当期の連結売上高は167億9千4百万円（前期比21.8%の増）、営業利益は43億3千9百万円（前期比36.6%の増）となりました。



その他の製品

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療・健康機器、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

当期の連結売上高は62億2千6百万円（前期比24.4%の増）、営業利益は2億3千万円（前期比16.3%の減）となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	200,930	180,817
固定資産	99,820	97,063
有形固定資産	31,697	31,022
無形固定資産	1,345	1,191
投資その他の資産	66,777	64,850
資産合計	300,751	277,881
負債の部		
流動負債	26,031	21,730
固定負債	5,554	4,084
負債合計	31,586	25,815
純資産の部		
株主資本	257,805	247,310
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,441	14,365
利益剰余金	295,725	278,804
自己株式	△61,766	△55,263
その他の包括利益累計額	10,490	4,152
新株予約権	63	74
少数株主持分	804	529
純資産合計	269,164	252,066
負債および純資産合計	300,751	277,881

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

項 目	株 主 資 本					そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	9,404	14,365	278,804	△55,263	247,310	3,384	767	—	4,152	74	529	252,066
当期変動額												
剰余金の配当			△5,517		△5,517				—			△5,517
当期純利益			22,439		22,439				—			22,439
自己株式の取得				△6,813	△6,813				—			△6,813
自己株式の処分		76		310	386				—			386
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					—	1,365	4,952	19	6,338	△10	275	6,603
当期変動額合計	—	76	16,921	△6,502	10,494	1,365	4,952	19	6,338	△10	275	17,098
当期末残高	9,404	14,441	295,725	△61,766	257,805	4,750	5,720	19	10,490	63	804	269,164

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
売上高	124,987	95,938
売上原価	69,061	55,451
売上総利益	55,925	40,486
販売費および一般管理費	22,920	19,501
営業利益	33,005	20,985
営業外収益	1,823	1,507
営業外費用	81	106
経常利益	34,747	22,386
特別利益	—	138
特別損失	253	327
税金等調整前当期純利益	34,493	22,197
法人税、住民税および事業税	11,577	7,468
法人税等調整額	253	692
少数株主損益調整前当期純利益	22,662	14,035
少数株主利益	223	526
当期純利益	22,439	13,508

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,606	26,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,820	△19,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,028	△4,994
現金および現金同等物に係る換算差額	1,615	1,861
現金および現金同等物の増減額 (△は減少)	5,372	3,559
現金および現金同等物の期首残高	45,551	41,992
現金および現金同等物の期末残高	50,924	45,551

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	102,050	98,388
固定資産	58,038	59,268
有形固定資産	13,497	15,642
無形固定資産	1,156	933
投資その他の資産	43,384	42,691
資産合計	160,088	157,657
負債の部		
流動負債	13,071	11,355
固定負債	2,337	1,410
負債合計	15,409	12,765
純資産の部		
株主資本	139,885	141,451
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,441	14,365
利益剰余金	177,805	172,944
自己株式	△61,766	△55,263
評価・換算差額等	4,730	3,366
新株予約権	63	74
純資産合計	144,679	144,891
負債および純資産合計	160,088	157,657

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
売上高	86,212	70,825
売上原価	59,605	47,796
売上総利益	26,606	23,028
販売費および一般管理費	15,536	13,864
営業利益	11,070	9,164
営業外収益	6,420	5,045
営業外費用	1,095	1,224
経常利益	16,394	12,985
特別損失	197	286
税引前当期純利益	16,197	12,698
法人税、住民税および事業税	5,875	4,648
法人税等調整額	△56	122
当期純利益	10,378	7,927

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

新製品の紹介

当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

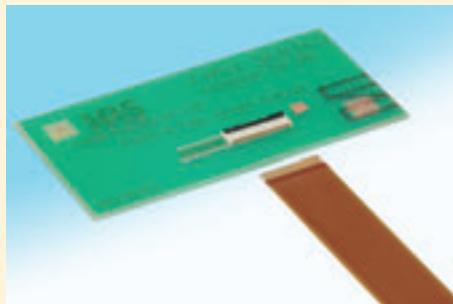
DF81シリーズ

省スペース、低背で、高速での信号伝送特性に優れた基板対細線同軸ケーブル接続用のコネクタです。ノートPC、タブレットPC市場のさらなる信号の高速化、高密度実装化に対し、高速伝送規格USB3.1 (10Gbps) およびembedded DisplayPort 1.4 (5.4Gbps) を準拠するとともに、世界最低背、最小占有面積を実現しております。また、多点でのグランド接続を設けることで、高速信号伝送下でのノイズ耐性を強化しております。



FH53シリーズ

スマートフォン、タブレットPC、デジタルカメラなどの小型機器の高機能化による基板占有面積縮小のニーズに向けて開発したFPC用バックフリップコネクタです。ピッチ0.2mm、奥行き3.2mm、高さ0.65mmと高密度化を実現しながら、独自のFPC保持構造により、良好な作業性と高いFPC保持力を有しております。



GT36シリーズ

自動車ルーフアンテナ向けに開発した電源+同軸複合小型コネクタとなります。従来は同軸線を基板へ直付する実装が主流でしたがGT36を使いコネクタ化することで、実装工程の簡略化と品質の安定化を可能にしました。ケーブル側コネクタはライトアングルにしており車体に対して省スペース配線が可能な特長も有しております。電源部はAWG#20-22 定格電流1A、同軸部はDC~2.5GHz、1.5C-2V、1.5D-2V、2.5D-2Vに対応しております。



PQ50WTシリーズ

ロボットやマウンターなどの産業機器の電源・信号用コネクタとして開発いたしました。高電圧、大電流対応に加え、過酷な環境にも耐えられるよう、ダイカストカバーを使用し、堅牢性と防水性を満足する仕様となっております。また、用途に応じて様々な種類のハウジングおよび端子を組み合わせて使用することが可能であり、独自開発の分岐圧着端子を使用することでコネクタ部での分流が可能となっております。



◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



関西支店
中部営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセエレクトリックマレーシア



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



博瀬電機貿易(上海)有限公司



ヒロセコリア



広瀬科技(深圳)有限公司



台廣電子股份有限公司



ヒロセエレクトリックUSA



広瀬香港有限公司
広瀬電機香港貿易有限公司



会社の概況

会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 708名 (パートタイマーを除く)
 資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (平成26年6月27日現在)

代表取締役会長	中村 達朗
代表取締役副会長	申田 榮
代表取締役社長	石井 和徳
専務取締役	吉村 義和
取締役	二階堂 和久
取締役	飯塚 和幸
取締役	近藤 真
取締役	中村 充男
社外取締役	堀田 健介
常勤監査役	千葉 良一
監査役	松原 俊雄
社外監査役	杉島 光一
社外監査役	瀬下 明
社外監査役	三浦 健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 瀬下 明氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あすさ監査法人

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

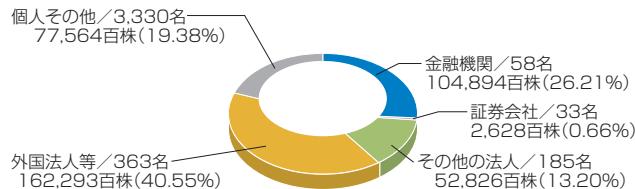
発行済株式総数 34,109,871株
 (自己株式5,910,865株を除く)
 株主数 3,969名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	百株	%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	34,436	10.10
財団法人ヒロセ国際奨学財団	28,550	8.37
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223	19,796	5.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	17,969	5.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,129	2.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,816	2.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	8,162	2.39
みずほ信託銀行株式会社信託口0700028	7,898	2.32
みずほ信託銀行株式会社信託口0700029	7,847	2.30
有限会社エイチエス企画	7,600	2.23

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式59,108百株を保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布 株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<<http://www.hirose.co.jp/investor/index.htm>>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

**インターネット
ホームページURL** [http://www.smtb.jp/personal/agency/
index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<http://www.hirose.co.jp>

